

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（使用済燃料乾式キャスク仮保管設備への輸送貯蔵兼用キャスク B の増設）に係る面談
2. 日時：令和2年8月28日（金）13時10分～14時15分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
伊藤係長、高木技術参与
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当3名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、実施計画の変更認可申請（使用済燃料乾式キャスク仮保管設備への輸送貯蔵兼用キャスク B の増設）について、資料に基づき説明があった。
 - ▶ クレーンレール及びレール固定部材の設計について
 - ✓ クレーンレールはメーカー基準に基づき既認可と同一の設計とする。
 - ✓ レール固定部材（アンカー及びレールクリップ）の材料は日本産業規格、寸法はメーカー基準に基づき既認可と同一の設計とする。
 - ▶ 溶接施工法の追加について
 - ✓ 輸送貯蔵兼用キャスク B の溶接工程の効率化を目的として、S T（クラッド）とT_B（クラッド）の2種類の溶接施工法を追加する。いずれの溶接施工法も、使用済燃料貯蔵施設に係る溶接の方法の認可を既に受けている。
 - ▶ 落雷対策について
 - ✓ 昨年7月に落雷の影響により乾式キャスク仮保管設備において一部の乾式キャスクの蓋間圧力が測定不能となった事象を受け、乾式キャスク仮保管設備エリアの接地増強及び各キャスクの圧力センサフレームの接地追設を行った。
 - ✓ 今回増設する輸送貯蔵兼用キャスク B についても、圧力センサフレームの接地等を行う。
- 原子力規制庁は、上記説明内容を確認した。

6. その他

資料：

- ▶ 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備への輸送貯蔵兼用キャスク B 増設に伴う実施計画の変更について